

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	新規の遊休農地利用者数		実績（値） 1人
	独自の指標②			実績（値）
	独自の指標③			実績（値）
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>人・農地プランによる担い手への農地の集約化については、農業委員に協力を依頼し集落ごとの会合の中で議題としてあげてもらったなどの周知を図りましたが、実施には至りませんでした。 農業委員と全筆調査を行い耕作しなくなった農地をリストアップし、その農地を耕作したい農家の方とマッチングさせ遊休農地解消に貢献しました。（令和2年度実績 下牧地区 1筆、6a） 生産基盤整備では、ため池の工事に伴う工事費を、土地改良施設維持管理適正化事業にて積み立てました。 （中山谷池護岸補修 法面保護工 250㎡・井戸ヶ尻池護岸補修 ブロック積工 H=3.7m L=17.50m） 水路の老朽化による水漏れの相談が1件あり、土地改良施設維持管理適正化事業の説明を行いました。採択要件に満たしておらず活用することはできませんでした。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢化や後継ぎ等の問題により所有する土地の管理が十分に行われていないところが増えている一方、家庭菜園希望者は増えてきており、需要と供給のバランスが保たれていることから、農地の有効活用に関するニーズは高いと思われます。 また、生産基盤整備の観点からため池の老朽化が進んでおり、補修事業の推進は必要であると思われます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>農業委員にも定期的にパトロールしてもらい、農地の貸し手借り手の意向調査やマッチング作業、また農地の状態やため池の状態等の現場確認の結果を報告してもらわなければならないと思います。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 農業委員にも定期的にパトロールしてもらい、農地の貸し手借り手の意向調査やマッチング作業、また農地の状態やため池の状態等の現場確認の結果を報告してもらい、それらをリストアップし管理することで土地改良施設維持管理適正化事業の推進につなげていきます。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	上牧町には集落営農や農業法人がなく、また農地も区画整理のされていないところがほとんどで、人・農地プラン（担い手や農業法人等）を活用することが難しいのが現状ですが、県やJAと連携を密にとり農地の集約に向けて推進していきます。 貸し農園や体験農園の推進に関しては、県や推進している市町村に聞き取りを行いながら本町でも推進していきます。 農業の根底を支える生産基盤の整備を推進すれば、水源の確保または農地の確保につながり、既存の農業者または新規就農者の方たちが安心して農業を営む場を提供できるので、結果、耕作放棄地解消へ向かうと思われます。農業委員にも定期的にパトロールしてもらい、耕作しなくなった農地をリストアップし、その農地を耕作したい農業者とマッチングさせ遊休農地解消に貢献します。 生産基盤整備では、ため池の工事に伴う工事費を、土地改良施設維持管理適正化事業にて積み立てます。				
	指標（予定）	KPI	遊休農地を再生活用する農地		102 a
		独自	新規の遊休農地利用者数		2人
		-			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	認定農業者の確保		実績（値） 0人
	独自の指標②	産地直売体制への新規協力者数		実績（値） 2人
	独自の指標③			実績（値）
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>生産体制の充実というところで、県やJAと密に連絡をとり、農業者をサポートするための相談窓口の設置や、その周知活動を農業委員とともに行いましたが、その後の問い合わせや相談がなかったため、あまり反響はなかったと思われます。</p> <p>（令和2年度 新規就農者0人、認定農業者0人）</p> <p>産地直売体制への支援の面では、場所の提供、ポスター作成等の支援を行い2人の新規協力者を確保しました。それにより令和2年度末時点においては合計15人となりました。</p> <p>奈良県新規就農者確保補助金制度活用のあっせんについては、農業委員会を通して各大字ごとの若い世代の農業者に声かけしていますが、反響はありませんでした。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>上牧町では農業者の高齢化、後継者不足の問題、そして上牧町の農地は集約するのが難しい地形であるという問題もあり、新たに就農する若い世代や、担い手はおりません。しかし近年、食の安全安心や伝統的な食材・食文化が改めて見直され、私たちの食や農に対する関心が深まってきております。生産者と消費者の顔が見えるコミュニケーションの場を創出することにより、生産者に対する信頼や、農産物に対する安心感が芽生え、スーパーやデパートにはない消費機会が生まれることから産地直売の推進につながると考えます。そのことからニーズは増加する方向にあると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>農業者の声を直接拾っていき、上牧町における農業の今後を検討していく必要があると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
		改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>農業委員会による農業者向けアンケートを実施する等、農業者の声を直接拾っていき、上牧町における農業の今後を検討していく必要があると考えます。また、そのアンケートを基に農業施策を打ち出していきたいと考えます。</p>			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	<p>新規就農者や担い手の方が上牧町で農業がしたいと思える現場づくりやサポート体制の充実を目指し、その方々が作った新鮮な野菜等を産地直売の形で出してもらい、そしてその野菜等を地元で消費する、循環型農業いわゆる産地直売を推進していきます。</p> <p>農業委員会による農業者向けアンケートを実施し、そのアンケートを基に農業施策を打ち出していきたいと考えます。</p> <p>新規就農希望者向けの相談窓口を設置又は奈良県やJAと連携し、認定農業者の確保に努めます。</p> <p>産地直売体制への支援の面では、生産者や販売員等の人員の募集を引き続き支援していきます。</p> <p>遊休農地の賃貸バンクと空き家バンクの組み合わせによる新規就農者育成については、空き家バンク制度と連携を図りながら推進していきます。</p>					
	指標 （予定）	独自	認定農業者の確保			1人
		独自	産地直売体制への新規協力者数			2人
		—				
		—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	セーフティネット制度による企業認定		実績（値） 198事業所
	独自の指標②	導入促進基本計画に基づく企業認定		実績（値） 1事業所
	独自の指標③			実績（値）
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>中小企業者の経営サポートについては、セーフティネット制度（町内の事業所で売り上げが前年度と比較して下がってれば、銀行等から融資を受けることができる）を活用し、提出された書類を確認し、198の事業所認定を行い、銀行等の関係機関に紹介しました。これは新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰りが難しくなったことが原因です。</p> <p>導入促進基本計画に基づく申請については、1件の相談があり認定しました。</p> <p>商工会及びその会員と経営指導体制の構築や起業支援体制の構築のための会議を年3回行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で会議が開けないため、商工会事務局と打ち合わせを年3回行い連携を図りました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金にて、「小規模事業者等継続支援事業」及び「小規模テナント事業者家賃等支援事業」を行いました。これらは売上が減少している事業所に対して支援金を交付するといったもので、「小規模事業者等継続支援事業」については187件、「小規模テナント事業者家賃等支援事業」については52件の申請があり、ともに交付完了しました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>町内の中小企業は、請け負う仕事量の減少や跡継ぎがないなどの問題に直面しており、また新型コロナウイルス感染症の影響から事業所数は今後減少に向かうと想定されるため、ニーズは増える可能性があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>県と連絡を密にとり、上牧町の中小企業の実情を知ってもらうとともに、県の事業に中小企業をサポートするメニューがないかを模索します。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）			
		<p>県と連絡を密にとり、上牧町の中小企業の実情を知ってもらうとともに、県の事業に中小企業をサポートするメニューがないかを模索し、そこで知りえた情報を広報やホームページに掲載するなどして、事業の周知活動を行います。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響で町内における商工業が打撃を受けたことから、活性化に向けて中小企業やその中心となる商工会に対し、サポートをしていく必要があると考えます。</p>			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		<p>中小企業の事業所や地域団体の自主的な活動を支援するとともに、町内外において地域商業の積極的なPR活動を行います。また、商工会と会議を重ねるなど連携を図り、経営指導体制の構築や起業支援体制の構築に努めます。</p> <p>中小企業者の経営サポートについては、セーフティネット制度及び導入促進基本計画における企業認定制度を推進し、中小企業の活性化を応援します。</p> <p>商工業の発展につなげるため、商工会に対してのサポートや事業協力を、近隣の市町村へ聞き取り等を行いながら実施していきます。</p>			
指標（予定）	KPI	事業所数【商業】		105事業所	
	独自	セーフティネット制度による企業認定		30事業所	
	独自	導入促進基本計画に基づく企業認定		1事業所	
	—				
	—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>配達システムを採用または予定している事業所を把握するため、ホームページや広報に掲載してもらうための準備をするともに、朝市で販売する野菜等を買ひ物弱者の方へ直接届けるなどのサービスができないかと、上牧ふれあい朝市会と協議しました。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢化社会において、買ひ物ひとつするにも苦勞する住民の方は今後増えていく傾向にあると思われるため、ニーズは高いと思われます。</p> <p>ペガサスフェスタの出店されている店をみても、朝市の野菜等は他に同じ部類のものがなく、また出品したものが売り切れるなどの実績があるため、ニーズは高いと思われます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>買ひ物弱者への支援という観点から、関係課と調整しながら事業を推進していきたいと考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 買ひ物弱者への支援という観点から、関係課と調整しながら事業を推進していきたいと考えます。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	買ひ物弱者への支援という観点から、関係課及び商工会と調整しながら事業を推進していけたらと考えます。 農産物をはじめとする地域特産品をもっと広く周知してもらえよう、ペガサスフェスタへの販売場所提供や周知活動等、多面的に産地直売体制を支援していき、地産地消につなげます。また、地元農業者や商工業関係者と協議を重ね、新たな地域特産品を開発していきます。 朝市で販売する野菜等を買ひ物弱者の方へ直接届けるなどのサービスができないか上牧ふれあい朝市会と協議した結果、数名の方が興味を示されたので、実際に利用される方向けのアンケート調査や広報活動を行うとともに、並行して新規会員の募集を行います。				
	指標（予定）	-			
		-			
		-			
		-			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																				
	独自の指標①	延長保育年間実利用者数	実績（値）	182人																				
	独自の指標②	病児病後児保育施設登録者数（目標年度終了時点）	実績（値）	77人																				
	独自の指標③	放課後児童クラブ月間受入人数（年平均値）	実績（値）	133人																				
	独自の指標④	乳幼児教室年間開催数	実績（値）	36回																				
独自の指標⑤	セミナー年間参加者数（延べ人数）	実績（値）	0人																					
●事業の分析（評価の根拠・理由）																								
<p>①延長保育実利用人数は、平成29年度194人 平成30年度216人 令和元年度204人 令和2年度182人 ②病児保育延べ人数は、平成29年度15人（実利用人数6人） 平成30年度87人（実利用人数10人） 令和元年度64人（実利用人数12人） 令和2年度16人（実利用人数10人） ③学童保育は平成29年度から全学年を対象とし、通年及び長期休暇のみの受入れを実施しています。待機児童もなく、申込者すべての受入れができました。平成29年度135人 平成30年度136人 令和元年度133人 令和2年度133人 ④第1保育所乳幼児教室は、外国人英語教師により毎月1回、3・4・5歳児クラスを対象に90分、英語のリズムに合わせて歌やダンス、ゲームに取り組んだ結果、英語やアルファベットに対して興味を示し、もっと覚えたい、知りたいという意欲を持つなど、英語という異文化に触れ楽しんでいる姿が見られました。和太鼓も毎月1回、5歳児クラスを対象に90分、音楽に合わせてリズムをとり身体を大きく動かし表現することに取り組んだ結果、リズム感が鍛えられ、集中力を養い、共同性が生まれたと考えます。 ⑤新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント等開催自粛のためあらゆるイベントが中止になり、子育て支援セミナーも開催することができませんでした。</p>																								
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																								
【各事業の利用人数（人）】																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①延長保育</td> <td>194</td> <td>216</td> <td>204</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>②病児保育</td> <td>15</td> <td>87</td> <td>64</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>③学童保育</td> <td>135</td> <td>136</td> <td>133</td> <td>133</td> </tr> </tbody> </table>						H29	H30	R01	R02	①延長保育	194	216	204	182	②病児保育	15	87	64	16	③学童保育	135	136	133	133
	H29	H30	R01	R02																				
①延長保育	194	216	204	182																				
②病児保育	15	87	64	16																				
③学童保育	135	136	133	133																				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																				
	評価の根拠及び理由	就労形態の多様化、核家族化、女性の社会進出による共働き夫婦の増加に伴いニーズは増加すると考えます。																						
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																				
	評価の根拠及び理由	各事業は引き続き実施していきますが、全てにおいて引き続き新型コロナウイルス感染対策が必要となります。子育てセミナーについては、保護者の子育てを応援するため、少人数を対象として開催することや、ZOOM（ズーム）、ホームページ、Facebook、YouTube等を活用してオンラインでのセミナー開催も考えます。「いちごルーム」は令和2年1月に開始したところで、まだ周知が十分ではなく、また、毎年登録をし直さないといけないことが利用者には負担になっていると考えます。																						

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策を実施しながら、引き続き、安心して子育てができる環境整備・事業の充実を図ります。</p> <p>「いちごルーム」の案内チラシを制作し、保育所や学童保育所に保護者への配布をお願いしました。令和3年度以降も、継続して周知を続けます。また、毎年の再登録については上牧町から意見を出したところ、5町で協議し更新不要となる予定です。5町統一して要綱の一部改正も行い、利用者の負担軽減につなげます。</p> <p>英語知育教育及び和太鼓ミュージックア終了後に子どもたちから感想など聞き取りを行いながら、子どもたちの実情に応じ、事業の拡大も検討していきます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>新型コロナウイルス感染予防対策を実施しながら、引き続き、延長保育事業、学童保育事業を実施し、第1保育所において情操教育として子どもたちの様子を見ながら英語知育教育・和太鼓指導を行います。</p> <p>「ぞうさんのおうち」と「いちごルーム」の2カ所で病児病後児保育を継続して実施します。必要とする方に知っていたら、再度保育所や学童保育所にチラシを配布し、登録者数の増加に努めます。</p> <p>放課後児童健全育成事業については、新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら引き続き実施します。また、第2子に係る保育料を現状の半額免除から、第3子以降と同様の全額免除とすることにより、より一層子育てと就労の両立の支援を図ります。</p> <p>また、ZOOM（ズーム）、ホームページ、Facebook、YouTube等を活用してオンラインを活用した子育て支援セミナーの開催を目指し準備を進めます。</p> <p>乳幼児や小学生の保護者が子どもの託児を希望する場合、社会福祉協議会が支援しているボランティアグループにつないでいきます。</p> <p>妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を提供する体制を構築し、包括的・継続的に支援する「子ども家庭総合支援拠点」を開設します。子育て世代包括支援センター等と連携をとり、子育て支援の充実を図ります。</p>					
	指標（予定）	独自	延長保育年間実利用者数	220人		
	独自	病児病後児保育施設登録者数（目標年度終了時点）	120人			
	独自	放課後児童クラブ月間受入人数（年平均値）	140人			
	独自	乳幼児教室年間開催数	36回			
	独自	セミナー年間参加者数（延べ人数）	40人			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	就職情報提供端末年間利用者数（延べ人数）	実績（値）	3人
	独自の指標②	就職準備セミナー等への年間参加者数（延べ人数）	実績（値）	15人
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>ハローワーク大和高田・株式会社ママスクエアと連携し、「マザーズセミナー」を開催しました。（3/9開催）新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、上牧町公式YouTubeチャンネルでのライブ配信により行いましたが、当日は15名の方にご参加いただいたほか、2自治体（福岡県福岡市・三重県亀山市）からの閲覧もありました。実施後のアンケートでも概ね高い評価をいただくことができました。</p> <p>また、役場庁舎内に設置しているハローワーク求人情報提供端末については、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、利用者は増えてはいたのですが、利用環境の整備（パーテーション等の設置）、広報かんまき（8月号）、Facebookページで利用促進を図りました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ライフスタイルは多様化しており、様々な働き方の実現が求められる中で、就職情報発信及び就職支援の取組に対するニーズは増加傾向にあると考えます。また、新型コロナウイルス感染拡大が続く中で、世帯収入の減収に伴う共働きニーズも増加傾向も見られます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ハローワーク求人情報提供端末については、現在スマートフォン等で情報を簡単に取得できるようになっており、情報を取得できる環境が整っていないかたに対するサービスの提供になってはいますが、利用者数は増えていない状況です。利用者が増えること自体は必ずしもいいというわけではありませんが、このサービスの認知度を高め、真に必要としている方に情報が届くような工夫が必要だと考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>ハローワーク求人情報提供端末については、広報以外ではホームページやSNSを利用して周知に取り組んでいましたが、ポスターやチラシ等のアナログでの周知を行っていくことで認知度の向上を図っていきます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>【子育てママ就業支援事業】</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況等を勘案しながら、事業の継続展開に向け、令和元年度に設置した上牧町子育てママ就業支援事業推進会議において地域関係者等と連携・情報共有を図る予定です。</p> <p>【ハローワークとの連携による就業支援】</p> <p>役場庁舎内における求人情報提供端末について、サービスの認知度を高めるために、引き続きホームページやSNSを活用した情報発信を行うほか、ポスターやチラシの作製、設置を行う予定です。</p> <p>また、ハローワークと連携した就職準備セミナー（マザーズセミナー）については、令和2年度に開催した動画をアーカイブ配信を継続するとともに、協力事業者を確保したうえで令和3年度も実施する予定です。</p>					
	指標（予定）	KPI	就職準備セミナーの年間開催回数	1回		
		—	就職情報提供端末年間利用者数（延べ人数）	20人		
		—	就職準備セミナー等への年間参加者数（延べ人数）	25人		
		—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																								
	独自の指標①		実績（値）																																									
	独自の指標②		実績（値）																																									
	独自の指標③		実績（値）																																									
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>一般就労につながることを目的とした制度として、奈良県が設置する生活自立サポートセンターの利用や障害者総合支援法に基づく就労系障がい福祉サービスの活用があり、窓口において個々のケースに応じた就労に関する相談支援を提供しました。</p> <p>○生活自立サポートセンターとの連携 生活困窮者の就労に係る相談について、奈良県中和・吉野生活自立サポートセンターと連携し対応した件数は34人（実人数）であり、令和元年度の32人を2人上回りました。</p> <p>○就労系障がい福祉サービスの利用状況 ①就労継続支援（A型）… 一般就労への移行を目指し、雇用契約を結び、障がい者施設で働きながら能力向上を図るサービスであり、14人が利用されました。 ②就労継続支援（B型）… 一般就労への移行を目指し、雇用契約を結ばないで、障がい者施設で働きながら能力向上を図るサービスであり、32人が利用されました。 ③就労移行支援 … 一般企業への就職を目指し、PC操作等知識や企業で働く上で必要な能力向上のための訓練を行うサービスであり、3人が利用されました。</p> <p>第5期障がい福祉計画の成果目標では令和2年度の一般就労への移行人数を1人以上としていましたが、結果7人となり目標達成となりました。今後も就労支援事業所との情報共有を行いながら、移行後の職場定着支援のサービス利用促進に取り組みます。</p> <p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>																																												
<p>【就労系サービス利用者数（年度末時点）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A型</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>B型</td> <td>27</td> <td>30</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>就労移行支援</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47</td> <td>48</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> <p>【一般就労への移行人数（年度内）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A型</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>B型</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>就労移行支援</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>						H30	R01	R02	A型	16	14	14	B型	27	30	32	就労移行支援	4	4	3	合計	47	48	49		H30	R01	R02	A型	2	3	3	B型	0	1	0	就労移行支援	1	1	4	合計	3	5	7
	H30	R01	R02																																									
A型	16	14	14																																									
B型	27	30	32																																									
就労移行支援	4	4	3																																									
合計	47	48	49																																									
	H30	R01	R02																																									
A型	2	3	3																																									
B型	0	1	0																																									
就労移行支援	1	1	4																																									
合計	3	5	7																																									
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																								
<p>評価の根拠及び理由</p> <p>障がい者や生活困窮者への支援は国や県が法律に基づいて行うサービスであり、町が窓口となって関与する必要があります。昨今のひきこもり問題による家族からの相談や、発達障がいを持つ方の家族からの就労に係る相談は年々増加しており、障がい者数の増加とともに、増々ニーズが高まることが予想されます。</p>																																												
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																																								
<p>評価の根拠及び理由</p> <p>就労系サービスを利用し一般就労へ移行された方が、職場に定着できず、数カ月で再度就労系サービスを利用されるケースもあります。本人の意向を汲み取りながら、一般就労への移行後の支援についても個々のケースに応じて検討していく必要があります。</p>																																												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>就労系事業所や計画相談員等の関係機関と積極的に情報共有を行いながら、一般就労移行後に本人の職場へ訪問したり、生活全般に関する相談支援を行う「就労定着支援」サービスの利用促進や周知に取り組みます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>引き続き関係機関との連携強化を進めながら、障がい者や就労困難者及びその家族へのきめ細やかな相談支援を心掛け、第6期障がい福祉計画の成果目標に掲げる一般就労への移行に関する検証・改善に取り組みます。</p>					
	指標（予定）	-				
		-				
		-				
		-				
		-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった								
	独自の指標①	プロモーション活動の認知度		実績（値） 50.6%								
	独自の指標②			実績（値）								
	独自の指標③			実績（値）								
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>ペガサスフェスタについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催することができなかったため、令和3年度の開催に向けて、イベント運営方法の見直しについて検討を行いました。ペガサスフェスタの模擬店の出展やステージ出演については、基本的に前年度出展していただいた団体に依頼していましたが、様々な団体が参加できるように「公募」による出展者の募集について検討を進めました（募集要綱（案）の作成）。イベント出展者を公募（予定）にすることで、様々な団体の参加機会を作ることができ、魅力的なイベントの開催につながると考えます。</p> <p>すむ・奈良・ほっかつ！事業については、独自の指標である「プロモーション活動の認知度」の実績値が50.6%で、目標値の48.0%を上回ったことから、概ね目標の成果が得られたと考えます。また、総括的な効果検証については、これまで様々なPR・イベント等を通して、北葛城郡の魅力を発信してきたことで、プロモーション活動の認知度が向上し、中にはプロモーション活動がきっかけで転入しているケースもあることから、一定の成果があったのではないかと考えますが、プロモーション活動の実施には多大な費用が必要となるため、移住施策については一旦区切りをつけることとし、移住施策の他に4町共同で取り組むべきことを新たに検討していきます。動画投稿型SNSのYoutubeについては、令和2年5月からスタートし、令和2年度において、17本の動画を配信しました。</p> <p>【動画配信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ときめき体操 9本 ・ふるさと上牧の歴史遺産 4本 ・ドローンで見る上牧町 1本 ・結婚応援事業（マリサポ） 1本 ・マザーズ・セミナー 2本 <p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>												
<p>【プロモーション活動の認知度（%）】</p> <table border="1"> <caption>プロモーション活動の認知度（%）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認知度（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>46.5</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>50.6</td> </tr> </tbody> </table>					年度	認知度（%）	H30	46.5	R01	48.1	R02	50.6
年度	認知度（%）											
H30	46.5											
R01	48.1											
R02	50.6											
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>大阪近郊のベッドタウンとなる自治体との比較の中で、十分な知名度があるとは言えませんので、知名度を高めるような取組を実施することで、定住人口・関係人口・交流人口の増加、地域の活性化につなげてほしいというニーズは今後も増えてくると考えます。</p>											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>イベントやPRの継続展開にあたっては、効果検証を重ね、より効果の高い方法を探していく必要があります。すむ・奈良・ほっかつ！事業については、移住施策の取組が一旦区切りとなったことで、新たな取組の検討を進めていく必要があります。</p>											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）								
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 今後も引き続きイベント等については関係課と連携、分担しながら積極的に取り組んでいきたいと考えます。すむ・奈良・ほっかつ！事業については、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、4町共同で新たにに取り組むべき内容の検討を進めていきます。								
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	令和3年度も引き続き、イベントや情報発信等を通じて知名度アップを図っていきます。ペガサスフェスタの開催については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながら実施の判断を行い、実施できなかった場合は、新型コロナウイルス感染防止対策を含めたイベント運営方法の見直しやコンテンツの検討等を行い、令和4年度の開催に向けた準備を進める予定です。すむ・奈良・ほっかつ！事業については、北葛城ホームページ等の既存作成物を活用したPR活動を継続していくとともに、「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」の中で、4町共同で新たにに取り組むべき内容を検討していきます。									
	指標（予定）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>独自</th> <th>プロモーション活動の認知度</th> <th>51%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	独自	プロモーション活動の認知度	51%	-			-	
独自	プロモーション活動の認知度	51%								
-										
-										

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため各種イベント等はすべて中止となったことから、計画通りに実施できませんでした。奈良県各地にある観光案内所3か所（橿原2か所、桜井1か所）に上牧町のパンフレットを設置させてもらうとともに、近鉄ケーブルネットワーク会員専用の市町村紹介ページに上牧町を掲載してもらいました。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>上牧町は観光地が少なく、全国的にみても認知度は低いので、現状ある観光地を整備することにより、それらが広く周知されれば、ニーズは増える可能性があります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>まだ利用したことのない観光の関係機関は多くあるので、それらをリストアップします。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） まだ利用したことのない観光の関係機関（観光協会やビジターズビューロー）と連携をとり、上牧町の歴史・文化・自然の魅力を発信していきます。 今後については、パンフレットの内容が古くなってきていることから更新を検討していきます。
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	町の観光地の周知活動や、イベント等の開催・参加により町の活性化を図ります。また、地域ならではのグルメや特産品をPRし販売することで、地域の認知度向上を図ります。 笹ゆり回廊の整備完了に合わせて、上牧町魅力発信ツアー等のイベントを打ち出し、上牧町の歴史・文化・自然の魅力を感じられる事業を展開していきます。 ペガサスフェスタ、奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」及び「奈良マラソン」等のイベントに参加し、地域特産品の出店を積極的に各種団体と上牧町との共同で進めていくとともに、地域特産品が購入できる場所を広報やホームページに掲載していきます。 上牧町のパンフレットを奈良県各地にある観光案内所に設置させてもらうとともに、関係機関発行の情報誌に上牧町の情報を掲載してもらいます。	
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-
	指標（予定）	-

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>上牧町、王寺町、広陵町、河合町を巡りながら「馬見丘陵公園」を目指す、一括した散策ルートを王寺町、広陵町、河合町、中和公園事務所と連携し、令和3年度に向けて実施できるよう協議しました。 滝川遊歩道を実際に歩いて安全面の調査を行うとともに、芝桜植栽の場所における撮影ポイントについては遊歩道では近すぎて文字が分かりにくいことから対岸の自転車道の整備完了を待って検討していきます。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ニーズの方向性としては、滝川遊歩道の整備に合わせてかんまき笹ゆり回廊の周遊とともに芝桜の開花時期においてイベント等の開催を行うことが必要と考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>滝川整備事業の推進として芝桜植栽整備事業を行いました。滝川整備事業の完了とともにこれらを見に来られる方や、遊歩道を歩きに来られる方が多数おられると予想するため、安全面の確認や調査は引き続き必要であると考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 滝川遊歩道やその他の場所において、引き続き安全面の調査を行っていくとともに、芝桜植栽の場所については、今後見に来られた方へ提案できるようオススメの写真撮影スポットを検討していきます。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	滝川整備事業の完了に合わせた事業開始を検討していることから、令和3年度につきましては広域連携による観光プログラムの企画・周知・運営の実施予定はありませんが、上牧町、王寺町、広陵町、河合町を巡りながら「馬見丘陵公園」を目指す、一括した散策ルートを王寺町、広陵町、河合町、中和公園事務所と引き続き協議していきます。 滝川遊歩道やその他の場所において、安全面の調査を行っていくとともに、芝桜植栽の場所については、今後見に来られた方へ提案できるようオススメの写真撮影スポットを検討していきます。				
	指標（予定）	独自	ウォーキングイベント開催数	1回	
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
滝川遊歩道やその他の場所において、安全面の調査を実際に歩くことで行い、危険箇所をピックアップしました。 （伊邪那岐神社から上牧第二中学校の間は整備が行き届いておらず倒木等有、大きい道を横断する所が7箇所ありその内4箇所は信号無、滝川に下りることのできる階段）				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由 かんまき笹ゆり回廊のルート整備が完了すれば、町の観光スポットを周遊することのできるルートが完成するため、ニーズが増える と予想されます。			
事業の見直し余地 （改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由 かんまき笹ゆり回廊のルート整備については、「歩く」ことがテーマとなっているため、滝川遊歩道やその他の場所においても安全 面の調査は徹底したいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容 （改善点に対する 改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 滝川遊歩道やその他の場所において、安全面の調査を実際に歩くことで行っていきたいと考えます。			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）		滝川遊歩道やその他の場所において、安全面の調査を実際に歩くことで行っていきたいと考えます。			
指標 （予定）	KPI	かんまき笹ゆり回廊の整備状況		95%	
	—				
	—				
	—				